

木管楽器の実習を
詳しくご紹介!!

学生広報委員 管楽器リペア科 1年 柿崎 遥香
菅野絵里佳
権 玫 福
坂 元 匠

管楽器リペア科 取材レポート ♪

管楽器リペア科って…
どんなことをするの？



クラシックやジャズ、吹奏楽など様々な音楽で使用されることの多い管楽器。それらをお客様の要望通りに修理し、仕上げられるよう毎日学んでいます。金管3種(トランペット・トロンボーン・ホルン)、木管3種(クラリネット・フルート・サクソ)のリペア技術を学んでいます。
今回は木管楽器の実習について紹介していきます。

木管楽器の実習を
のぞいてみましょう!!

1年生の授業では、木管楽器の基本的な修理方法を段階的に学んでいます。現在、クラリネット修理の実習を終え、フルート修理について学んでいます。それが終わると次はサクソ修理の実習が待っています。
覚えることが多く、時には作業についていけず悩んでしまうこともあります。先生方の手厚いサポートのおかげで解決できました。



先生を
PICK UP!!



学ぶ上で悩みや失敗はつきものです。しかし、それらをそのままにせず、解決するまで教えて下さる先生がたくさんいます。
1年生の木管楽器の実習を主に教えて下さるのは井野礼菜先生です。笑顔がとても可愛らしくハキハキとしているので授業の雰囲気もとても明るく楽しいです。
井野先生の他にもサポートして下さる先生方がいます。第一線で活躍されている方にも教えていただけるので、現場のことや経

先生や学生の声を
聞いてみました!!

「不器用だけど大丈夫かな?」「授業中の雰囲気はどうか?」
など、皆さんの疑問が少しでも解決できるように、本校の先生、
学生から授業の様子を聞いてみました!!

～学生からの声～

クラス担任制
だから安心!



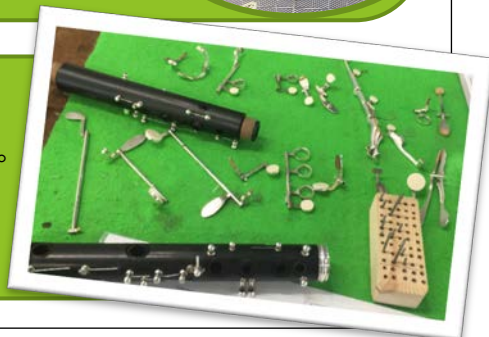
《木管楽器の実習で学んだことや発見したことは?》

- ・タンポの状態やキィのバランスなど、細かい箇所も注意して見るができるようになりました。
- ・同じ作業を何度も繰り返し行い、覚えることの大切さを実感しています。
- ・修理方法が様々あり、楽器の状態により方法を変えることができました。
- ・プレイヤー目線ではなく、職人目線で冷静に修理を行えるようになりました。



《木管楽器の実習の雰囲気は?》

- ・クラスのみなが積極的に意見を交換し合い、活発な雰囲気です。
- ・メリハリがあり、実習以外は和気あいあいとしています。
- ・熱心に楽器と向き合える環境で、先生との距離が近いです。



～先生からの声～

《学生の成長した点は?》

- ・少しでも疑問があれば質問してくれるようになり、意欲的に取り組んでいます。
- ・不器用な学生もいますが、工具の扱い方から体系的に学ぶので、しっかりと技術が身につけてきました。
- ・作業に慣れてきましたが、課題を発見し集中して取り組んでいます。



《木管楽器の修理をするうえで大切にしていることは?》

- ・作業工程や楽器の構造を理解して作業を行うことです。
- ・お客様が満足していただけるような仕上がりを意識しています。
- ・どんな作業でも精度・スピードを高めることです。



学校法人 中部学園 (職業実践専門課程認定校)

中部楽器技術専門学校

CHUBU TECHNICAL ACADEMY OF MUSICAL INSTRUMENTS

〒466-0027 名古屋市昭和区阿由知通3-13-6



フリーダイヤル **0120-856-854**

TEL: 052-741-6788 **学校案内無料送付中**

URL: www.chubugakki.ac.jp

